

四谷地区協議会だより

No.

5

第5号

平成23年11月発行



—ぼいす— Voice

四谷二丁目界限

10

11

12



町内にある自転車空気入れ機

10

四谷小学校正門

11

四谷大通り

荒木町界限



荒木町車力門通り

津の守弁財天

金丸稲荷

四谷中学校
避難所運営
ボランティア
の様子



詳しくは特集4~5ページをご覧ください。



こんにちは町会長さん！

皆様のまちの町会長さんに、わが町の魅力を語っていただきます。
今回は荒木町と四谷二丁目です。

(ご紹介する町会は町会連合会で随時決定されています)

Q1 名物名所、いづれをお教えください！

荒木町町会
町の中ほどに小さな公園があります。その片隅に、「利益は「開運・防火・防犯・交通安全・商売繁盛等」ナンデモ「コイ」のわりには小さな「金丸稲荷神社」があり、さらに奥に足を進めると静かな「茶の池」(通称かつば池)があります。そのそばに近年縁結びが担当分野に加わったと評判の「津の守弁財天」があります。(池に鯉・コイ・恋が…♡)

Q2 とっておきのお話や人気行事、面白くばれ話を教えてください！

荒木町町会
なんといっても老舗の専門店が多くあることです。宮内庁御用達の「筆筒の松本」(皇太后陛下美智子様の筆筒を取めた有名店)。区内小学校・保育園に給食材料を納品している魚の「金駒」。そして美しい造花の「東京堂」は日本のみならず世界中の注目店です。まだまだ話はつきませんが、町内の皆様方、奥ゆかしくお話しくださいねので、ちよいと小耳にはさんだお話を自慢させていただきました。

Q3 ずばりどんな町ですか？ PRをどうぞ！

荒木町町会
荒木町は四谷のほぼ中央に位置する歴史と伝統と人情とにぎわいの町(街)です。食べてよし、飲んでよし、歌ってよしそして住んでよしのこの町「一度足をお運びください」。

四谷二丁目町会
商店会と共催の「土と苗の無料配布」は五百人以上の行列が出来ます。又、年末の餅つきは毎年好評でつく量が年々多くなっています。

四谷二丁目町会
国道20号線の2箇所の私有地をお借りして、自転車の空入れを置いてあります。利用される方も多く皆様に喜んでいただいています。また、機合消防団長をはじめとした消防団員のみなさんの指導の下、防火防災に力を入れ年に2回町会で訓練しています。一言で言えば人に優しく、安全第一の町にと願っております。

四谷地区協議会 第四期を迎えて

四谷地区協議会会長に就任して

四谷地区協議会会長 松川英夫

本年5月の総会で前会長の大熊勝氏の後任として大役を仰せつかりました。前会長の「地域を想う心」を私も大切に、行政と連携した自治を目指したいと思います。

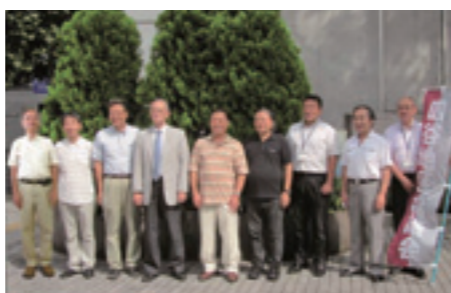
各分科会のリーダーをはじめとする各委員は、すでに多くの実績を積んで活動しています。それらの活動を地域の一人でも多くの人たちにお知らせすると共に、既存の各団体との協力体制を作り上げる事が、これからはなお一層必要と思われると思います。

四谷は「歴史と文化の香り」が豊かな地域です。地域の町会をはじめたくさんの方々の支えによって誇りある地区を守り育てていくと思います。

地域連携の要として

四谷地区協議会調整担当 渡邊成幸

地区協議会の調整役として関与し3年目となりました。振り返ると就任当初に自分が協議会の存在、活動について認識が薄かったかを痛感します。しかしこれは私だけではなく、残念ながら多くの四谷地域住民が持っている認識と変わらないことも事実です。地域課題の提議と解決、行政への御意見番、他団体との連携：関わるほどに協議会が「働き者の団体」であることに内心驚いています。この「働き者」がもっと地域に愛され、頼られるように調整潤滑油として笑顔忘れずにとめます。



第4期地区協議会役員のみなさん

第四期四谷地区協議会への期待

四谷特別出張所長 下杉正樹

四谷地区協議会は、早いもので四期目を迎えることとなりました。これまで地区協議会活動の発展にご尽力、ご協力いただきました地域の皆様、心より御礼申し上げます。

地区協議会は、区政への参画、地域課題解決の場として、地域における大切な役割を担っています。今期から、新たに「観光まちづくり実行委員会」が旗揚げするなど、活動内容も益々充実されていると思います。

四谷のまちは、町会等多くの団体や個人の方が力を合わせて「歴史と文化の香りあふれ、多くの人が集う夢のまち」の実現を目指しています。先人から受け継いだこの四谷のまちを大切に育み、未来につなげていくためにも、地区協議会活動の益々の発展と、協議会委員皆さまのご活躍を、期待しております。

観光まち歩き

「住んでよし、訪れてよしの四谷」をつくるために、四谷の観光ポイントと四谷に伝わる物語を研究し、四谷内外の方々へ観光まち歩きを通してその魅力を伝える活動を始めました。今春から桜の外堀四谷見附・江戸四谷寺町・花街荒木町・信濃町文学座界隈・宿場町内藤新宿等5回のまち歩きで紹介してきました。当会では地元を愛し自ら行う観光まち歩きガイドの育成も行っています。興味のある方はぜひご参加下さい。

観光まちづくり実行委員会 実行委員長 田中健士



多武峯内藤神社で

田中委員長がこの日の見所を解説

まちづくりを考える

皆様のご協力で「四谷お宝さがし」は5年目を迎える周年記念企画を計画しています。また7月より新たに「観光まちづくり実行委員会」が立ち上がりました。ここでは、ガイド養成を兼ねたまちの魅力探しを行っています。本会では2つの実行委員会と連携した活動の集大成として『四谷を識る』勉強会を開催して参ります。第4期でも皆さんと四谷の過去を未来につなげる意識を共有しながら「まちづくり」について語り合う場の提供を積極的に展開していきます。また同時に、本年度制定された新宿区自治基本条例についても皆様と学び、考えていきたいと思います。

第1分科会 リーダー 高野 健

生活環境・まち美化を考える

住み良い街四谷を目指して環境・まち美化・みどりの活動を行っています。今年は環境と社会状況に配慮して、より節電を心掛け、自然エネルギーを学ぶ講座や地域課題である放置自転車対策について四谷三丁目駐輪施設の効果検証を行っています。定例事業としては地域一斉清掃ごみゼロデーの実施、地元名物内藤とうがらしを含む花いっぱい運動の街路フラワープランター200台の設置を推進しています。

第3分科会 リーダー 田中健士

健康で安心なコミュニティづくりを考える

協議会の健康体操教室には、雨にも負けず、風にも負けず、夏の暑さにも負けぬ元気な高齢者の方々が毎週・隔週たくさん集まっています。「四谷子ども見守り隊」では、子どもたちの登校を見守りあいさつする人々も大勢います。また、子育てを応援するためのイベントには、多数の親子が参加しています。第2分科会では笑顔で「集い」そして「話す」場を中心とした健やかな地域づくりをなおいっそう発展させていこうと考えています！

第2分科会 リーダー 大友敏郎

防災・地域安全

東日本大震災の際、東京にも及んだ揺れは私たちの防災意識を高めたながらも、現実には何をどこまで備えればよいのか戸惑いをもたらしたことも思い出します。同時に「自助」「共助」が理想どおりにならなかったことは、尚一層の意識改革が必要であることを示しました。その様な状況であればこそ、まずは地域に関心を持つことが防災・地域安全の要であることに間違いありません。

私たちは「声」の紙面で情報の共有をはかりながら、防災と地域安全の核である町会、そして他の地域団体と連携し、安心できるまち「四谷」の一端を担い、より一層の救命講習の普及を目指します。

課題別PT リーダー 大塚光男

地域の防災活動に参加しましょう！

四谷特別出張所管内の震災時の避難所

(平成 23 年 9 月末現在)
一次避難所 (区立小・中学校、都立高等学校)

学校名	住所	利用町会・自治会等名 (避難所を運営する町会・自治会等名)
四谷小学校	四谷 2-6	市谷本村町町会 (笹筒町地域)、坂町町会、三栄町町会、本塩町町会、四谷二丁目町会
四谷ひろば	四谷 4-20	愛住町町会、荒木町町会、片町町会、舟町町会、四谷三丁目町会、四谷四丁目町会
四谷第六小学校	大京町 30	霞ヶ丘町会、左門町町会、信濃町町会、須賀町町会、大京町町会、内藤町町会、南元町町会
花園小学校	新宿 1-22-1	三光町町会、新宿一丁目町会、新宿二丁目町会、新宿園町会、花園町町会、番衆町町会、新宿東口商店街振興組合 (区役所地域)、新宿大通商店街振興組合 (区役所地域)
四谷中学校 (医療救護所設置)	四谷 1-12	若葉一丁目町会、若葉二丁目町会、若葉三丁目町会、四谷一丁目町会
都立新宿高等学校	内藤町 11-4	新宿三丁目町会、新宿四丁目町会

四谷中学校の生徒さんの声

～避難所運営ボランティアを体験して～

1年 A.Oさん
火を使わず、ご飯を作るのは良い体験になった。

1年 H.Kさん
アルファ米はすごく熱くなることが分かった。

2年 K.Yさん
思ったよりも大変でしたがためになりました。

3年 A.Yさん
貴重な体験ができ、ためになりました。

3年 R.Oさん
人の命を助けるということの大変さを知った。

3年 K.Yさん
今回の体験を冷静に生かせるようにしたい。

3年 N.Mさん
震災がおこったら自分から活動したいです。

3年 S.Kさん
とても楽しかったです。今後に生かしたいです。

1年 R.Oさん
楽しかったです。地域の方々ありがとうございます。

2年 H.Kさん
意外と簡単で早くできた。良い経験になった。

1年 T.Hさん
災害時にはみんなの協力が必要だと感じた。

四谷中学では地域協働学校として、「地域ボランティア」に積極的に関わるよう地域住民と協力して生徒に呼びかけています。



四谷地域の防災訓練のお問い合わせ

四谷特別出張所 〒160-8581 新宿区内藤町 87 番地 電話：03-3354-6171

新宿区危機管理課 〒160-8484 新宿区歌舞伎町 1-4-1 電話：03-3209-1111 (代表)

※避難所開設についての資料提供：合同会社グローバルリンク
連絡先 〒251-0044 神奈川県藤沢市辻堂太平台 1-4-A410 電話：080-5055-6820
E-mail: tichii@gl-community.com

避難所開設に必要な要求事項

災害が発生した場合、避難者（住民や帰宅困難者）の逃げ場となる避難所。避難者の心配を和らげる上で一刻も早い対応が求められます。

即時性の要求

災害が発生した場合、すぐに避難所開設に熟知した人員が配置されるとは限りません。誰でも避難所の立ち上げが可能な体制を整える必要があります。

容易性の要求

四谷地区協議会広報誌「声」では、昨年3月に防災特集を組み、地域の防災活動への参加を呼びかけました。そして1年後：未曾有の大災害である東日本大震災が発生しました。当会の課題別プロジェクト「防災・地域安全」では再度地域の皆様に、震災の被害を最小限に食い止め、避難生活を支える要となる「地域防災」について「声」を通して周知させていざと同時訓練に参加した四谷中学校の生徒の声もお届けします。

災害時に備え身近な避難所運営管理訓練(通称・避難所訓練)に私たちもすすんで参加しましょう。いざという時こそご近所同士の助け合いが力を発揮します!!

避難所開設における現状の課題

限られたメンバーだけで開設の段取りを行う事ができるか

多数の避難者が押し寄せた場合、それを誘導できるか

既存のマニュアルではたして開設ができるのか

避難を必要とする方に場の提供がスムーズにできるか



「対応の遅れ」や「判断ミス」は避難所の運営に大きな影響をもたらし、避難者の心的影響の拡大に繋がる可能性があります。

どのような作業を優先して行うべきか

災害発生後から避難所に求められる目標像

時間	求められる目標像
発災後 3 時間以内	<ul style="list-style-type: none"> ●避難者カードの配布・回収 ●施設職員中心に組織編制 ●医療救護所の設置 ●ライフライン施設の被害状況の確認 ●井戸水やプールの水の状況把握 ●「給水拠点」の確認及び給水 ●飲料水等の緊急要請 ●必要な物資の品目、数量の確認及び備蓄調達物資の配布 ●水洗トイレの使用の可否の確認 ●情報担当の設置 ●外来者等への対応窓口の設置
発災後 6 時間以内	<ul style="list-style-type: none"> ●避難者の把握 ●避難者の移送 ●不足物資の把握と供給要請 ●救助物資の配布 ●仮設トイレ等の設置 ●掲示板の設置
24 時間以内	<ul style="list-style-type: none"> ●班の編制及び代表者の選出 ●帰宅困難者の受け入れ ●帰宅困難者の移送 ●ボランティアの要請 ●臨時集積所の設置 ●ごみ排出ルールの確立 ●テレビ・ラジオ・電話・FAX等の設置
72 時間以内	<ul style="list-style-type: none"> ●避難者及びボランティア中心の組織編制 ●ボランティアの受け入れ ●炊き出し用食料の要請、提供

参考資料：H19 東京都避難所管理運営指針 (区市町村向け)

四谷高齢者総合相談センター
(地域包括支援センター)について

声

「高齢者総合相談センターという所はこのような相談ができるの?」
というお声を頂戴しました。また、ご年配の方が悩みごとを抱えながら「相談先がわからない……」「どこに相談をしたらいいのかしら?」
というお声も耳にしました。

そこで、今回は四谷高齢者総合相談センターの鶴田香織所長にセンターのお話を伺いました。



四谷高齢者総合相談センター 鶴田香織所長

Q1

高齢者総合相談センターとはどのようなところですか?

A 高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために、介護や医療、福祉、健康づくりなど様々な相談に応じる総合的な窓口です。「介護サービスを利用したい」「物忘れが心配」「家族の介護に困っている」など、高齢者やご家族についての心配ごとがある方であれば、どなたでも相談できます。

Q2

どのような専門性のある職員がどのような仕事をしているのですか?

A 社会福祉士・主任ケアマネジャー・保健師等の資格を持った職員が相談内容に応じて必要な手続きやサービス内容についての支援をします。また、認知症への支援として認知症を正しく理解し対応方法を学ぶ「認知症サポーター養成講座」の開催や、様々な関係機関とのネットワーク作りにも力を入れています。



Q3

どんな相談に対応しているの? どのような支援を提供しているのですか?

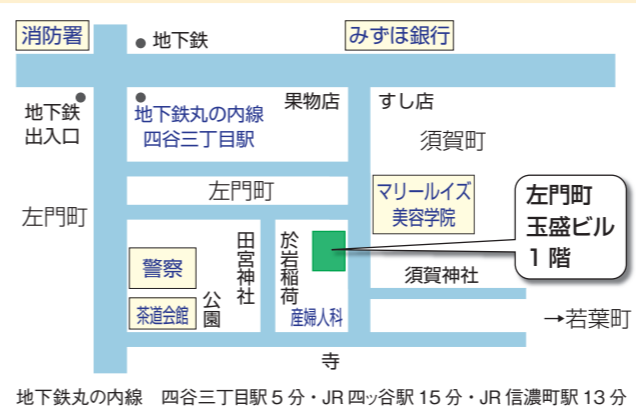
A 加齢や病気等により今までの生活に支障が生じてきたことなどについて安心して生活していける方法を一緒に考え支援します。

例えば、認知症の方に対してはその人らしい生活が続けられるように介護サービスを中心に徘徊や火の不始末、金銭管理などに対する支援を検討し、ご家族の方への支援も行っています。必要に応じて医療機関や関係機関とも連携しながら適切なサービスにつなげます。

新宿区の形をヒントにした高齢者総合相談センターのイメージキャラクターです。



ご相談ください



相談窓口時間は9時から17時30分。日曜、年末年始は休みです。
〒160-0017 新宿区左門町9玉盛ビル1階
電話 03-5367-16770
ファクシミリ 03-33658-160022

※の住所の方は、番地によって担当センターがわかれます。ご不明な点はお問い合わせください。

担当地域
愛宕町・荒木町・霞ヶ丘町・片町・歌舞伎町1丁目(※)・坂町・左門町・三栄町・信濃町・新宿1-2丁目・新宿3丁目(※)・新宿4丁目・新宿5丁目(※)・須賀町・住吉町(※)・大京町・内藤町・舟町・本塩町・南元町・四谷1-4丁目・若葉1-3丁目

おじゃましてーす!

転ばぬ先のストレッチ講座

今回は新宿地域交流館のストレッチ体操教室におじゃましました。みなさんがはつらつとウエルカムポーズを決めてくださいました。



それでは、人気抜群の岡田先生をご紹介します!



皆さん元気にポーズ!

「腰や膝の痛みは、運動不足・体重の増加・姿勢の悪さが原因となっていることも多い。体操教室でからだのしくみを学び、自宅でも体操を続けるうち、痛みが楽になったという声もよく聞きますね」

体操教室は下記会場で開催しています。どの講座も先生に気軽に質問でき、いつからでも参加できます。
四谷地区協議会主催体操教室一覧

会場名	開催日
四谷ひろば	毎週火曜
花園小学校・四谷中学校	隔週土曜
新宿地域交流館	第2・第4木曜
霞ヶ丘町会集会所	第1・第3木曜
若葉地区(マンション集会所)	第2・第4水曜
信濃町シニア活動館	毎週火曜

※開催日・参加方法など詳しいお問い合わせは、裏面事務局まで。

自宅でできる簡単ストレッチ

岡田先生が伝授する、膝のストレッチ体操。膝の曲げ伸ばしや歩き初めに違和感のある方にオススメ!! さらにむくみや冷え性などにも効果があるとか。お風呂上がりにおこなえば、効果もアップするそうです。



膝を伸ばして座り、太モモの後ろに両手をあてる



両手で太モモを引き上げ、膝を胸に引き寄せる

第4回 四谷地区協議会 主催 地域を識る勉強会「四谷学」の報告

〈テーマ〉江戸庶民が築いた四谷の文化 活気ある文化・文政期の様子

「四谷の過去を知ることで、四谷の未来を語ろう」。9月10日に毎年恒例となった地域で学ぶ「四谷学講座」が開催されました。揃いのはっぴ姿の協議会委員の出迎えで始まった第一部は、新宿歴史博物館の鈴木靖副館長が語る「文化文政期の庶民の生活」。当時の下級武士らの楽しみは、「入湯」「買い食い」「買い物」など。人々の気持ちは200年前と変わらないようです。



鈴木副館長のお話を熱心にきく参加者

続く第二部は、四谷に稽古場や住居があった人間国宝常磐津菊三郎氏のご親族、小浪千恵子さんが「四谷の思い出」について語りました。菊三郎氏は生前とくに、四谷の「下町と山の手の長所を併せ持つ」ところを好んでいたとのこと。千恵子さんの「いつまでもそれが続いてほしい」という言葉で、講座が締めくくられました。



お父様の思い出を語る小浪さん

協議会では早くも次回のテーマを何にするかを検討しはじめています。来年もお楽しみに!



第3回 四谷地区乳幼児支援機関連絡会主催 「この夏を惜しんでおともいっども水で遊ぼう!!!」

去る9月11日、四谷ひろばで、夏の地域風物詩ともなったイベントが盛大に(255名参加)開催されました。当日は子どもたちの笑顔が輝く一日となりました。また、四谷地区の民生・児童委員有志のご協力を得て豚汁200食の提供(昨年2倍!)もあり、心も体も暖まることができました。

連絡会では、「四谷で安心して楽しく子育てできる」をモットーに、公私の垣根を越えて参加団体の呼びかけをしています。四谷地区協議会もひきつづき応援していきます!

私たちは、お互い連携しつつ、親子の四谷地域デビューを応援します!

- 四谷地区乳幼児支援機関連絡会 協働事業企画(順不同)
- 【実行委員会】四谷ひろば地域ひろば、二葉乳児院、地域子育て支援センター二葉、信濃町子ども家庭支援センター、本塩町児童館、富久町児童館、四谷保育園、二葉南元保育園、信濃町保育園、四谷第六幼稚園、四谷新生幼稚園、四谷子ども園、四谷冒険あそびの会、四谷保健センター、四谷特別出張所、四谷地区協議会、新宿区社会福祉協議会
 - 【協賛】花園幼稚園、新宿第二保育園、区立男女共同参画推進センター「ウィズ新宿」
 - 【協力】東京おもちゃ美術館、CCAA アートプラザ、四谷地区民生児童委員協議会



来年も9月に会うワン!



開催報告

四谷のお宝さがし

～秘話・こぼれ話をご紹介します～



35年ぶりによみがえった 坂本龍馬の掛け軸

第4回 四谷お宝さがし発表会 「お気に入りのお宝」賞

1メートルはあろうかという大きな掛け軸に描かれた、坂本龍馬の勇姿。羽織の紺も、今なお色鮮やかです。こちら、平成23年6月に開かれた「第4回四谷お宝さがし発表会」で「お気に入りのお宝」賞を受賞した掛け軸。荒木町の小料理屋の女将、Hさんの所蔵品です。

Hさんによれば、今から35年ほど前に、古い友人から譲り受け、その後一度も開くことなく、長い間押し入れて眠っていたもの。その掛け軸が、35年ぶりに開かれたのは昨年のことでした。

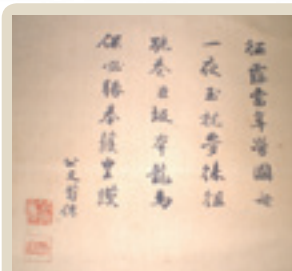
NHKの大河ドラマ「龍馬伝」を見ていたHさんは、ふと、その坂本龍馬の掛け軸のことを思い出したといいます。果たして押し入れから探し出してみると、記憶のとおり色鮮やかな掛け軸が出てきました。「こんなに立派なものだとは思わなかったので、びっくりしました。さっそく、日本画に詳しいお客様に、高知の坂本龍馬記念館などに問い合わせさせていただいたところ、明治から昭和にかけて活躍した日本画家、公文菊僊の本物の作品ということがわかったのです」(Hさん)

公文は、幕末の志士を描くことを得意とした画家で、多くの坂本龍馬の肖像を描いていました。その後Hさんは、ぼろぼろになっていた表装を張り替え、まさにお店の「お宝」として、お客さんに見せていたそうです。

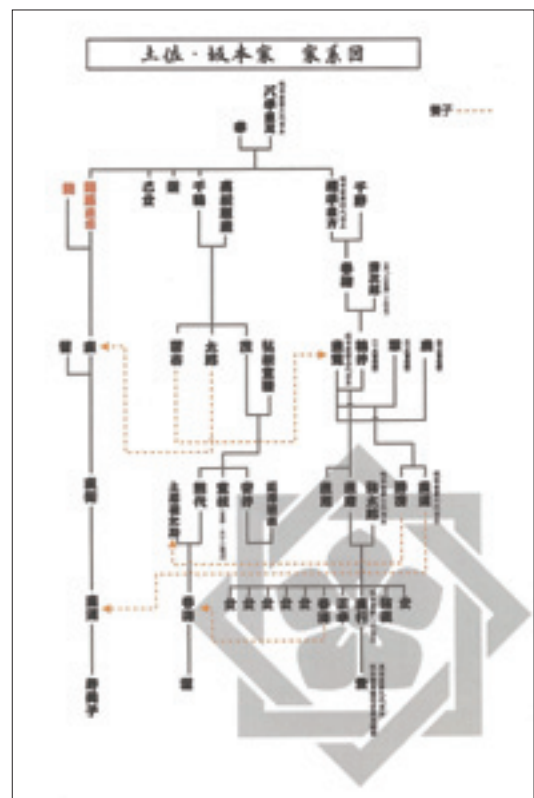
そんななか、「お宝さがし発表会」にも掛け軸を出品。この坂本龍馬の掛け軸が縁となり、この年の発表会の講演は、坂本龍馬の子孫である坂本家9代目当主の坂本登さんをお願いすることに。坂本さんには、坂本家に代々伝わる龍馬の逸話を披露していただいたほか、掛け軸に書かれた漢学者中島気崢の七言絶句についての解説もしていただきました。「掛け軸に書かれた七言絶句は、日露戦争が開戦した当時、皇后の夢に坂本龍馬があらわれ、勝利を予言したというもの。縁起がいい内容ですし、これからも掛け軸を大切にしていきたいですね」(Hさん)

実行委員長のコメント

私たちの身の回りには、常に大切にされてきたお宝もありますが、長い間眠っているお宝もあります。それが偶然に見え、新たな物語を創り出すこともよくあります。そうした「お宝」再発見のきっかけ作りも「四谷お宝さがし」の重要な役目です。Hさんの掛軸は、私たちに坂本龍馬ご子孫による講演を聴く幸運を与えてくれたのです。ご出品ありがとうございました！
(四谷お宝さがし実行委員長 豊村泰彦)



七言絶句も縁起のいい内容



坂本家9代目当主も講演

編集・発行 四谷地区協議会

【事務局】(四谷特別出張所内)

〒160-8581 新宿区内藤町 87 番地

電話 3354-6171 FAX. 3350-9403

E-mail : <http://www.city.shinjuku.lg.jp>

次号は平成24年3月発行予定です。

編集後記

地区協議会広報は地域皆様のお力添えで無事5号を発行することができました。広報誌「声」では、これからも地域力が結集した活動の情報を発信できるように、様々な声のキャッチボールを心がけて参ります。ぜひ皆様の声をお寄せください。

広報リーダー 野澤秀雄